



2022年9月2日
日本製紙パピリア株式会社

原田工場の生産体制の再構築について

日本製紙グループの日本製紙パピリア株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：西口恭彦、以下「当社」）は、国内需要の構造的な変化に対応し、生産の効率化と競争力の強化を目指して、原田工場（静岡県富士市）の抄紙機のうち、3号抄紙機を2023年3月末に、5号抄紙機を2024年3月末に、それぞれ停機することを決定しました。

現在、原田工場では、5機で生産を行っており、3号抄紙機はインディア紙・超軽量コート紙を、5号抄紙機は複写用紙を主に生産していますが、それぞれの生産品目については、他の抄紙機に集約いたします。今回の再構築に伴い生じる人的資源は、当社内再配置の他、日本製紙グループ各社での活用も計画しております。お客様をはじめ関係する皆様にご不便をおかけすることのないよう万全を期して参りますので、引き続き当社製品へのご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

<設備の概要>

	生産能力	主要生産品種	停止時期（予定）
3号抄紙機	25トン/日	インディア紙、超軽量コート紙	2023年3月末
5号抄紙機	25トン/日	複写用紙	2024年3月末